

Yoshio Kitayama Exhibition

北山善夫展

— 歴史 —

2018年 5月2日(水) - 7月16日(月祝)

開館時間 | 10:00 - 18:00

休館日 | 月・火曜日 ※7/16(月祝) 開館

観覧料 | 無料

主催 | 富士市

主賛 | 一般社団法人富士芸術村



ふじ・紙のアートミュージアム

Fuji Paper Art Museum

〒416-0953 静岡県富士市豊原町1750番地 富士市文化会館ロゼシアター1階 TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <http://www.fuji-paperart.jp>

「君の知ったことかない」ナカ・真一 1999年 | 美玉正「歴史は死者がつくった」真ノ子 2010年 | 真玉正「もとのま」ナカ・真一 2010年 | 真玉正「もとのま」ナカ・真一 2010年 | 真玉正「もとのま」ナカ・真一 2010年

北山善夫展

Yoshio Kitayama Exhibition

2018年5月2日(水) - 7月16日(月祝)

開館時間 | 10:00 - 18:00

休館日 | 月・火曜日 *7/16(月祝) 開館

観覧料 | 無料

主催 | 富士市

主管 | 一般社団法人富士芸術村



「天使の椅子」(部分)
竹・紙・銅線
2000~2010年

歴史



「君の知ったこちゃない」(部分)
木・竹・銅・紙 1980年

北山氏のアトリエがある京都府に向かう。
 亀岡駅に着いてタクシーで自然豊かな山間を抜けて一時間程走ると開けた平地に田畑が広がった。
 穏やかな田園地帯の中にアトリエが見えた。
 到着するとアトリエで制作中だった北山氏が笑顔で出迎えてくれた。
 広くて天井の高いアトリエは北側から射し込む光が心地良い。
 よく読書をする北山氏、棚には数えきれないほどの本が並び そのジャンルは幅広い。
 ガラスケースには多くの骨董品が所狭し並び、特に人形には拘りがあるようだ。
 制作中の作品の説明や、長年制作してきた経緯を伺った。
 制作に対する想いや拘りは奥深く、時間をかけて描く姿勢は敬意をばらう。
 お話を伺って、北山氏の生き方そのものが表現されている事を改めて実感する事が出来た。
 北山氏が経験した事が様々な表現法で表されているが、全ての作品が率直に表され、私達の心にストレートに訴えてくるのである。そこには裏打ちされた北山哲学があるからだ。
 今回の展覧会は 100年前から現代までの新聞記事ドローイングと1980年代の初期の立体作品とその後制作した絵画と 歴史的なオリジナルの新聞と小さな天使の椅子をインスタレーションし 宇宙として 相対として 歴史を表すのである。
 展覧会の内容を説明するよりは先づはそこに立ち 皆さんが体感していただけたらと思います。



「歴史は死者がつくった」(部分) 鳥ノ字紙にインク 2000~2009年

北山善夫 Yoshio Kitayama
略歴 (1948年生まれ 京都府在住)



- 主な受賞
 バングラデシュ・ビエンナーレゴールドメダル賞
 日本芸術大賞
 京都府文化賞功労賞 など
- 主なパブリックコレクション・パブリックアート
 大原美術館
 滋賀県立近代美術館
 愛知県立美術館
 豊田市美術館
 国立国際美術館(大阪)
 Club Méditerranée(パリ、インドネシア)
 Lalit Kala Akademi(ニューデリー、インド)
 愛知芸術文化センター(名古屋、愛知)
 上海ワールドフィナンシャルセンター
 MixC World 万象天地(深圳、中国) など

- 主な展覧会
 「第14回 現代日本美術展」東京都美術館、京都市美術館
 「第40回 ヴェネツィア・ビエンナーレ」日本パビリオン(ヴェネツィア、イタリア)
 「カーネギー・インターナショナル展」カーネギー美術館(ピッツバーグ、アメリカ)
 「現代紙の造形 韓国と日本展」国立現代美術館(ソウル、韓国)、京都市美術館、ほか巡回
 「日本現代美術展」(中西夏之・川俣正・狗養賢二・彦坂尚嘉・北山善夫) クンストハレ(デュッセルドルフ、ドイツ)
 「第2回 バングラディッシュ・ビエンナーレ」国立博物館(ダッカ、バングラディッシュ)
 「第2回 ペーパーアート・ビエンナーレ」レオポルド・ハッシュ美術館(デュレン、西ドイツ)
 「インド・トリエンナーレ」国際アーティストキャンプ(ジャイプル、インド)
 「戦後文化の軌跡1945-1995」目黒区美術館、広島市現代美術館、兵庫県立近代美術館、福岡県立美術館へ巡回
 「大地の芸術祭 越後妻有アート・トリエンナーレ2000」越後妻有6市町村(新潟)
 「第11回 アジアン・アート・ビエンナーレ・バングラディッシュ 2003」シルパカラア카데미
 「瀬戸内国際芸術祭」(男木島、高松、香川)
 「北山善夫展」MEM(東京)
 「宇宙と芸術展」森美術館(東京) など多数

特別講座「死と生を考える」展覧会に先立ち、北山善夫氏による特別講座を開催しました。(2018.4/28 土)13:00~16:00(19名参加)
 北山氏から作品について様々なお話を聞き、参加者も新聞の死亡記事を読んで制作しました。その作品は、北山氏の「新聞記事によるドローイング」のインスタレーションに加え、展示しております。

ふじ・紙のアートミュージアムは、紙を素材とした芸術作品を展示します。そして、「つなげる・つながる」をテーマに芸術文化活動をしていきます。当ミュージアムが拠点となり、富士市全体がミュージアムになることを願っています。
 2016年11月1日 開館

交通 | 東名富士インターチェンジより約2.3km、国道1号より約2.2km、新富士駅より約2.2km、富士駅より約2.6km
 バスの場合はJR富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター入口」下車 徒歩2分
 新幹線 JR新富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター前」下車
 ※駐車場によって到着するバス停が異なりますのでお帰りの旨はご注意ください。
 駐車場 | 富士市文化会館ロゼシアターの駐車場をご利用ください。
 ※ロゼシアター開催の公演により混雑する場合があります。

